

挑む 山のトライアスロン

長野の中村さん日本代表

未舗装の道や湖 走り泳ぐ

競技歴数年 世界の舞台

長野市の会社員中村園子さん(53)が、イタリアで今月下旬に開かれるオフロード版トライアスロン「エクステラ」の世界選手権に出場する。舗装されていない山道や湖など自然が舞台の競技だ。競技を始めて数年だが、いきなり世界大会出場の切符をつかんだ。「世界の空気を体で味わいたい」と意気込んでいる。

エクステラは自然の湖の中をの時間を競う。世界選手権はスイムに加え、山中のコーイムが1.5キロ、バイクが32キロ、足を走り(ラン)、ゴールまで。岐阜県で開かれた日本大会で、



エクステラの世界選手権に出場する中村さん

女子50〜54歳の部門で優勝し、世界選手権出場を決めた。

静岡県出身。高校卒業後、志賀高原のスキー場でのアルパインが縁で結婚し、中野市に移り住んだ。42歳の時にマウンテンバイクのクロスカントリー競技を始め、「山の中をピューッと下るのが楽しい」と熱中した。

10年ほど前に足のけがを経験したが、復帰後、長野市の自転車関係者に自転車競技が含まれるトライアスロンに誘われて参加。マウンテンバイクの経験が生きるエクステラの大会にも出場し始めた。エクステラでは、ぬれたり荒れたりしたコースでどうスムーズに走るかが好成績の鍵になるという。

8月には開発許可申請などのコンサルタント会社「d-ネクスト」(長野市)に転職した。会社の理解を得て、世界選手権には休暇を取って挑む。本番に向け「歩いたり、ギアを落としたりせず、自分に勝ちたい。これからもエクステラを続け、タイムを伸ばしたい」と抱負を語った。